

【Ⅱコリント人への手紙 8章】

「～主は富んでおられたのに、あなたがたの為に貧しくなられました。
それは、あなたがたが、キリストの貧しさによって
富む者となるためです。」(Ⅱコリント8:9)



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師:ダニエル大重

8、9章は捧げもの」についての教えです。主は、天にあってなんの不自由もないお方で、「光あれ！」と言えば光があり、ラザロをも蘇らせることができられるお方ですが、人の子となり馬小屋にお生まれになられ、貧しい大工の長男として育てられました。そして最後は、着物を剥がれ、全人類の罪をその身に負うて、槍でつかれ、血を流して十字架で死なれ3日目に復活されました。富んでおられたのに、私達の為に貧しくなられたのです。それは、キリストの貧しさによって、私たちの罪が赦され、神の子とされ、永遠の命を受けるといふ、まさに富むものとなるためでした。捧げものとは、

①「**先ず自分を捧げること**。」(5節) この様なイエス・キリストの犠牲の愛に対して、私達自身を捧げていくことは最大の捧げものです。自分の人生を、自分の為に使うのではなく、神のご計画の通りに生きていきますと、主に差し出していくことです。

②**恵みのわざ・交わりのわざ(1～6節)** です。神のこのような愛は、受ける価値なき者に対する恵みです。7月にはチームがまたギリシャのパトモスに行きます。ギリシャは今、経済破綻をして大きな問題を投げかけていますが、その当ても、海沿いはまだしも、ここについているマケドニアは山に囲まれていて貧しかったようです。極度の貧しさにもかかわらず、飢饉があって、窮乏の中にあるエルサレム教会を、マケドニアの諸教会が助けたというのです。お金持ちが助けたのではなく、窮乏していた教会が助けたのは、同じような環境にあって、その痛みがよく分かったのでしょう。彼らは満ち溢れる喜びから捧げたと書いてあります。彼らは、イエス・キリストの恵みをよく知っていたからです。7節に「あなたがたは、すべてのことに、すなわち、信仰にも、ことばにも、知識にも、あらゆる熱心にも、私たちから出てあなたがたの間にある愛にも富んでいるように、この恵みのわざにも富むようになってください。」とパウロは勧めています。それは強いられてではなく、自ら進んでなしてゆくものです。受けるより与える方が幸いなのです。

ノーベル平和賞を受けたマザー・テレサは「貧しさにあえぐ人は姿を変えたキリストです。」と語っています。貧しい人、やもめ、孤児を助けることは神様の喜ばれることです。

教会の働きが今、宣教の第2ステージに立ったと言われて、主の示されている国々に次々に広がっています。また教会を土台とした働き、各教会の働きも献金によって支えられています。皆様の捧げられた献金が、どんなに神の働きを拡大していることでしょうか！私たちはこの献金の恵みと祝福を今までも多く味わってきました。信仰の捧げものをするによって、私達があらゆる面で(霊的にも実際的にも)富むものとなるように、神様は導いてくださっています。これからもっと大きな神の奇跡、神の栄光を見ていくでしょうが、これは捧げものと大きな関わりがあるのです。自分の手元にあるお金(と思っているかもしれませんが、全ては神様が下さったものです。)を主のみ手に捧げるならば、(一粒の麦として、地に落ちて死ぬならば)それは多くの実を結ぶでしょう。マラキ書には、溢れるばかりの祝福があるかどうか「試してみよ。」と書かれています。「自分の一をことごとく、宝物倉に携えて来て、わたしの家の食物とせよ。こうしてわたしをためしてみよ。～わたしがあなたがたのために、天の窓を開き、あふれるばかりの祝福をあなたがたに注ぐかどうかをためしてみよ。」マラキ書3:10

捧げものは、神様と私たちの間の愛の関係を表すものです。真心を込めた捧げものを喜ばれた例をレプタ2枚を捧げたやもめ(マルコ12:41) ナルドの香油を塗ったマリア(マルコ14:3)などに見ることができます。私達がこの恵みのわざに富む者となることができますように(8:7) きよい、正しい捧げものを通して、更に神のしるし、癒しのみわざ、奇跡にあずかり、神の栄光を拜してゆきましょう!

*皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意下さい。

教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。

SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2012.6.3 No.686

今年のみ言葉 歴代誌Ⅱ 20:22

我らが喜びの声、賛美の声をあげ始めたとき、
主は伏兵を設けて～彼らは打ち負かされた。



主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)
The Lord's Cross Christian Center
<http://astone-blog.jp/tlcccfrh/>